



優勝した内藤洋選手と山田聖子選手

六月二十六日(日)に福井県立武道館で開催されました「福井県知事杯 第十三回福井県剣道選手権大会」の試合結果は次のとおりです。

男子は内藤洋選手(県警察)が初優勝、女子は山田聖子選手(越前地区)が二年ぶり九回目の優勝を果たしました。

男子の部優勝の内藤選手は十一月三日に東京都で開催される第六十四回全日本剣道選手権大会、女子の部優勝の山田聖子選手は九月十一日に長野県で開催される第五十五回全日本女子剣道選手権大会の

男子は内藤洋選手が初優勝
女子は山田聖子選手が二年ぶり九回目の優勝
福井県知事杯第十三回 福井県剣道選手権大会

平成二十八年六月二十六日(日)

於 福井県立武道館



第 92 号

発行人
(一財) 福井県剣道連盟
会長 片山 外一

事務局
〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズニの宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkickendo@herb.ocn.ne.jp



片山外一会長から
激励のご挨拶



森近悦治県教育長から
ご祝辞をいただく

福井県代表選手として、それぞれ選考されました。

○男子の部

- 優勝 内藤 洋 (県警察)
- 二位 久保田広行 (学剣連)
- 三位 鹿本 裕登 (県警察)
- 三位 林田 匡平 (学剣連)

○女子の部

- 優勝 山田 聖子 (越前地区)
- 二位 伊藤 藍子 (坂井地区)
- 三位 坂本 菜子 (三方地区)
- 三位 藤本 奈々 (三方地区)



白熱した試合の様相

大会報告行事報告

第54回北信越高等学校剣道大会

平成二十八年六月十七日(金)

十九日(日)

於 加賀市スポーツセンター

男子個人

ベスト8 小林 宏崇(高志)

女子個人

準優勝 山崎 愛華(北陸)

ベスト16 齋藤 榛那(丸岡)

八幡 明依(福工大福井)

男子団体

予選リーグ

敦賀 3勝1敗

丸岡 (決勝トーナメントへ)

北陸 0勝

福工大福井 (予選リーグ敗退)

1勝3敗

1勝2敗1分

(予選リーグ敗退)

決勝トーナメント

敦賀 1-3

金沢桜ヶ丘

敦賀 ベスト8

女子団体

予選リーグ

敦賀 4勝

(決勝トーナメントへ)

美方 1勝2敗1分

(予選リーグ敗退)

北陸 2勝2敗

(予選リーグ敗退)

福工大福井 2勝2敗

(決勝トーナメントへ)

決勝トーナメント

福工大福井 4-0

敦賀

福工大福井 1-1

金沢桜ヶ丘

敦賀 ベスト8

(代表勝ち)



H28 北信越総体3位福井高校女子

優秀選手

男子 内田 大樹(敦賀)

女子 山崎 愛華(北陸)



H28 北信越総体優秀選手

福井県剣道連居合道

講習会を開催

平成二十八年六月二十六日(日)

於 越前市武道館

石川県剣道連盟から二名の講師をお迎えし、標記の講習会が開催されました。午前九時に開講式が始まり、居合道部長の開催挨拶に続き、教士七段竹松孝代志先生、教士七段作田剛也先生が紹介されました。講師を代表して竹松先生が挨拶の後、直ちに作田先生の解説で、長谷川翔平四段が演武しながら講義が始まりました。全日本剣道連盟居合を一本目から十二本目まで留意点や、陥りやすい良くない所作など説明を聞きまし

た。その後は、受講者十八名が二班に分かれて演武指導を受け、ゆっくり

した動作で解説書通りに動いているか、左足が撞木足になっていないか確認しながらの稽古をするよう指導されました。

午後二時半からは、模擬試合を行い、五段七名が審判の実技指導を受けました。県内では試合回数が少なく経験不足であり、宣告の発声・審判旗の操作など細部に至るまで指導されました。

最後に、講師の号令に従い、受講者全員が一斉に、習ったばかりの注意事項を心に留めて演武をして午後四時に講習会を終了しました。

(記) 広報・居合道委員 玉村



第五十回 福井県少年剣道錬成大会

平成二十八年七月十日(日)
於 福井県立武道館

団体戦 (男子の部)

- 優 勝 鯖江志士樹館道場
- 二 位 木田剣道スポーツ少年団
- 三 位 福井養正館
- 三 位 王子保スポーツ少年団剣道部



団体戦 (女子の部)

- 優 勝 金津少年剣道教室
- 二 位 坂井剣道スポーツ少年団
- 三 位 龍昇館道場
- 三 位 敦賀市剣道スポーツ少年団

個人戦

4年生以下

優 勝 岩崎 成生

二 位 山下 慶也

(王子保スポーツ少年団剣道部)

三 位 藤田 元基 (五常館)

三 位 東海 来夏 (福井養正館)

敢闘賞 西出 隼斗

(大野市剣道教室)

敢闘賞 山本 天晴

(越前剣道クラブ)

敢闘賞 下 寛人

(丸岡剣道スポーツ少年団)

敢闘賞 山田 優生

(今立剣道スポーツ少年団)



5年生以上

優 勝 崎元 蓮太 (福井養正館)

二 位 山本 峻仁

(王子保スポーツ少年団剣道部)

三 位 柏崎 雅己

(鯖江志士樹館道場)

三 位 相馬 快成

(織田剣道スポーツ少年団)

敢闘賞 佐藤隆太郎

(木田剣道スポーツ少年団)

敢闘賞 中島 基

(木田剣道スポーツ少年団)

敢闘賞 城田 海響

(鯖江剣道スポーツ少年団)

敢闘賞 森 陽輝

(鯖江剣道スポーツ少年団)

第八回全日本都道府県対抗 女子剣道優勝大会

平成二十八年七月十六日(土)

於 日本武道館

福井県 鹿兒島県

先鋒 鈴木里 阿瀬知

次鋒 鈴木香 | 末吉

中堅 山田 コ | 重水

副将 高嶋 | 下川

大将 田中 × 鶴窪

代表戦 田中 | ド 鶴窪

本大会は、年齢別の各都道府県の

女子代表選手の試合ということで、5人制による成年女子の国体のような大会で、第8回目を迎えて各都道府県剣道連盟として益々強化しているようです。

今年度の本県選手は、先鋒：鈴木

里香子(敦賀高3年)選手、次鋒：

鈴木香菜子(立命館大2年)選手、

中堅：山田聖子(工大福井高講師)

選手、副将：高嶋寿美(藤島高教諭)

選手、田中佐代子(鯖江市役所職員)

選手で、在校する学校での稽古や福

井国体の成年女子強化稽古や県外遠

征等で意識を高め、是が非でも初戦

を突破し上位に勝ち上がりたいと大

会に臨みました。

初戦は鹿兒島県で、先鋒は、上段

の構えから終始攻めを効かせ相手

(阿瀬知選手)の手元が上がるとこ

ろを諸手小手や相手の小手打ちを打

ち落として面など、あと少しの強度

があれば有効となった技がありました

た。この先鋒戦で優位に試合を運び

たかったところですが時間切れで引

き分け。

次鋒は、相手(末吉選手)の攻め

の波を外すようなタイミングで虚を

突く面や小手に打って出ましたが防

御され、引き面を打ち切っていたら

有効となるような場面もありました

が、終盤で小手すり上げ面を打たれ

1本負け。

中堅は、お互いに足さばきが良く

体の勢いもあり、攻防の展開が早い

中で、チームとしての星取を優位な

状況に持ち込みたいといった執念が

ありました。相手(重水選手)の攻

めに不用意に合わせず、崩して打つ

気迫で技のつきたところや居着いたところを狙っており、終盤で少し引きながら相手が面に出てくるところを出小手を決め1本勝ち。もう1本欲しいところでありました。

副将の相手(下川選手)は、世界選手権団体優勝や全国教職員大会で個人優勝などの実績を持つ強豪でありましたが、引くことなく前に出ながら相手の打ちを有効とさせず、何とか大将につなげようと時間一杯集中して対戦していました。相手の打ちは見えていたので、応じる技でも勝負できなかったかと思いました。

勝者数、取得本数とも同数で迎えた大将は、相手(鶴窪選手)も中心を外さずに気攻めを効かし、お互いに不用意に打って出れない状況が続く中、少しずつ間を詰めて打ちを引き出し、出端を捉える氣勢と体勢でありました。時間内に勝負が付かず大将戦による代表戦となりました。

相手もじりじり間合いを詰めてくる中、自在に距離をとる状況が続き、相手の居着いたところを飛び込み面



に出ました。相手の体勢は崩れており、あと少し届いていれば有効となっていたと思います。最後は、足が止まったところを逆胴を打たれ惜しくも敗退となりました。

本大会を終え、高橋俊昭先生(福井国体成年の部スーパーアドバイザー)から、激励のお言葉をいただきました。なので最後に書かせていただきます。

- ① 打つ機会が良いが、打ちの強度と刃えを身につけること!
- ② 勝利への執念が試合の中にもっと出てこないといけない!

最後に、福井から東京まで駆けつけて激励と応援をいただいた諸先生方や保護者の皆様、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。来年こそ勝ち上がりたいと思います。(記 監督 山本英俊)

16県民スポーツ祭 高校の部

平成二十八年七月十六日(土)

於 福井県立武道館

男子団体の部

- 優勝 福井工業大学付属福井高等学校A
- 準優勝 啓新高等学校A
- 第三位 敦賀高等学校A
- 第三位 丸岡高等学校



女子団体の部

- 優勝 敦賀高等学校B
- 準優勝 福井工業大学付属福井高等学校
- 第三位 美方高等学校
- 第三位 福井工業大学付属福井高等学校A

男子優秀選手

美方高等学校 奥村仁一郎

女子優秀選手

敦賀高等学校 堤腰 琴菜

全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 出場選手選考会

平成二十八年七月十八日(月)

於 福井県立武道館

- 一位 崎元 蓮太 福井養正館
- 二位 山本 峻仁
- 三位 王子保スポーツ少年団剣道部
- 三位 森 陽輝
- 四位 柏崎 雅己 鯖江剣道スポーツ少年団
- 五位 城田 海響 鯖江志士樹館道場
- 六位 鯖江剣道スポーツ少年団
- 六位 相馬 快成
- 七位 織田剣道スポーツ少年団
- 七位 中島 基
- 八位 木田剣道スポーツ少年団
- 八位 佐藤隆太郎
- 八位 木田剣道スポーツ少年団



第54回福井県中学校夏季総合
競技大会兼、16県民スポーツ祭
中学生の部剣道競技

平成二十八年七月二十二日(金)
～二十三日(土)

於 福井県立武道館

男子団体

優勝 中央中学校

*第46回全国中学校剣道大会出場

第二位 清水中学校

第三位 明倫中学校

第三位 松岡中学校



女子団体

優勝 今庄中学校

*第46回全国中学校剣道大会出場

第二位 三方中学校

第三位 森田中学校

第三位 丸岡中学校

一学年男子

優勝 森 恵誠(中央中学校)

第二位 植村 啓吾(明倫中学校)

第三位 徳橋 知輝(明倫中学校)

第三位 前田 怜音(丸岡中学校)



二学年男子

優勝 寺前 寛一(明倫中学校)

第二位 西山優太郎(明道中学校)

第三位 中村 俊貴(鯖江中学校)

第三位 山本 勇樹(三方中学校)

一学年女子

優勝 下 桐子(丸岡中学校)

第二位 梅原 陽乃(武生一中学校)

第三位 木村真理子(今庄中学校)

第三位 小林 咲季(永平寺中学校)

二学年女子

優勝 山下 真奈(武生六中学校)

第二位 中野 扇沙(明倫中学校)
第三位 竹元 樹来(明倫中学校)
第三位 杉原 寿夢(今庄中学校)



男子北信越出場者決定戦

優勝 田崎 健斗(松陵中学校)

第二位 梅田 隼仁(藤島中学校)

第三位 西澤 朋希(鯖江中学校)

第三位 山本賢一朗(成和中学校)



女子北信越出場者決定戦

優勝 川端 心愛(今庄中学校)

第二位 奥村 莉菜(三方中学校)

第三位 南元 優那(三方中学校)

第三位 増谷 美里(武生一中学校)

16県民スポーツ祭
市町対抗の部

平成二十八年七月三十一日(日)

於 福井県立武道館

成年男子の部

優勝 福井市 A

準優勝 鯖江市 A

第三位 坂井市 B

第三位 福井市 B

成年女子の部

優勝 坂井市

(2年連続)

準優勝 鯖江市 A

第三位 南越前町 B

第三位 福井市 B

壮年男子の部

優勝 敦賀市 A

(2年連続)

準優勝 坂井市 B

第三位 坂井市 A

第三位 鯖江市 A



- 壮年女子の部
 優勝 坂井市A
 準優勝 坂井市B
 第三位 福井市
 第三位 敦賀市
- 熟年男子の部
 優勝 越前市A
 準優勝 鯖江市
 第三位 若狭町
 第三位 坂井市



第37回北信越中学校

総合競技大会

平成二十八年八月四日(木)
 於 富山県西部体育センター
 平成二十八年八月四日(木)に富山県西部体育センターにおいて開催。結果は次の通り。

- 団体戦の結果
 (男子団体の部)
 予選Aリーグ 清水中3敗 4位
 清水中 1 | 2 奥田中
 清水中 1 | 0 内灘中
 清水中 0 | 3 三条第一中
- 予選Bリーグ 中央中3敗 4位
 中央中 1 | 2 松代中
 中央中 1 | 2 宇ノ氣中
 中央中 1 | 2 富大附属中

- 予選Dリーグ 明倫中1勝2敗3位
 明倫中 1 | 2 佐久長聖中
 明倫中 0 | 4 小針中
 明倫中 3 | 0 射北中

- (女子団体の部)
 予選Bリーグ 三方中2勝1分け1位
 三方中 2 | 1 柳町中
 三方中 1 | 1 羽咋中
 三方中 3 | 0 射北中

- 予選Cリーグ 森田中4位
 森田中 0 | 4 宇ノ氣中
 森田中 1 | 1 小池中(本数負け)
 森田中 0 | 2 奥田中

- 予選Dリーグ 今庄中3位
 今庄中 0 | 4 燕中
 今庄中 1 | 1 戸倉上山田中(本数負け)
 今庄中 4 | 0 庄川中

- 女子団体準々決勝
 三方中 1 | 1 戸倉上山田中(代表勝ち)
 準決勝
 三方中 1 | 2 宇ノ氣中
 三方中 3位

個人戦の結果

男子1回戦

- 梅田(藤島中) × 石川(井波中)
 奥村(三方中) × 神代(本成寺中)
 西澤(鯖江中) × ココ岡崎(中能登中)
 山本(成和中) × 金崎(奥田中)
 中村翔(中央中) × 徳武(長野東部中)
 田崎(松陵中) × 水野(佐久長聖中)
 2回戦
 梅田(藤島中) × 清水(城南中)
 奥村(三方中) × 反井上(佐久長聖中)
 中村翔(中央中) × 加賀谷(富大附属中)
 田崎(松陵中) × 勢登(城南中)
 3回戦
 田崎(松陵中) × 中村翔(中央中)
 準決勝
 田崎(松陵中) × 金崎(奥田中)
 田崎 健斗(松陵中) 3位

中村翔太郎(中央中) 5位
 女子1回戦
 奥村(三方中) × 長谷(大門中)
 田中(今庄中) × 辰口(燕中)
 南元(三方中) × 傳田(柳町中)
 増谷(武生第一中) × 中川(山室中)
 松井(松陵中) × 竹中(高松中)
 川端(今庄中) × 田村(中能登中)

- 2回戦
 奥村(三方中) × 倉島(上田第一中)
 南元(三方中) × 杉本(山室中)
 松井(松陵中) × 佐藤(燕中)
- 3回戦
 南元(三方中) × 辰口(燕中)
 南元 優那(三方中) 5位

第63回全国高等学校剣道大会 (インターハイ)

平成二十八年八月二日(火)
～五日(金)
於 岡山県 ジップアリーナ岡山
男子団体予選リーグ

敦賀	木更津総合(千葉)
山川	糟谷
内田	メ
石寄	メ
戸倉	メ
志保澤	メ
伊南	メ
1/1	1/1

盛岡南(石手)
遠藤
花坂
黒澤
藤原
皆川
3/2

女子団体予選リーグ

鈴鹿(三重)
芳村
田名瀬
和田
和藤
佐藤
松村
3/3

敦賀	草津東(滋賀)
田辺	メ
阪口	メ
大槻	メ
末吉	メ
山田	メ
対馬	メ
1/1	2/2



男子個人
一回戦
馬淵 稜也(敦賀) メ
寺崎聖司(山口県鴻城) 山口

馬淵 稜也(敦賀)	—
渡辺悠斗(土浦湖北)	茨城
森下大海(敦賀)	メ
佐賀	—
三回戦	—
森下大海(敦賀)	—
メコ渡邊拓朗(東海大翔洋)	静岡
ベスト32	—

第58回全国教職員剣道大会

平成二十八年八月九日(火)
於 沖縄県

八月九日、沖縄県にて開催された全国教職員大会におきまして、個人戦で二位という結果を収めることができました。このような結果を収めることができましたのも、日ごろ御指導いただいている先生方、また稽古していただいている方々のおかげであると思っております。個人戦の決勝は東京都の村瀬選手とでした。

試合終了間際に集中力が切れたところろに引き面を打たれてしまいました。一回戦から苦しく厳しい試合が多く、そのような中でも決勝まで残れたことはよかったです。団体・個人ともに優勝を目指しておりましたが、団体戦では二回戦敗退、個人戦でも優勝を逃してしまい悔しい気持ちでいっぱいです。試合内容に関しましても到底自分の満足できるような内容ではなく、自分の力のなさを痛感いたしました。今後の試合では、国体が控えております。この結果におごることなく、日々精進していききたいと思います。

団体戦	林田 匡平
一回戦	福井 2-2 宮城△
本数勝	—
先鋒	林田 — 長谷
久保田	— 武田
中堅	西川 — 宇都宮
副将	中村 — 高橋
大將	柳原 — 高橋
二回戦	福井 2-3 愛知○
△	—
先鋒	林田 — 服部
久保田	— 福間
中堅	西川 — 佐藤

副将 中村 一メ山崎
大将 柳原メドード渡邊

個人戦高・大・教委の部
準優勝 林田 匡平

1 回戦 林田メ坂本(岐阜)

2 回戦 林田ツ中本(奈良)

3 回戦 林田コ大城(沖繩)

準々決勝 林田メ久保(石川)

準決勝 林田コ菊池(静岡)

決勝 林田メ村瀬(東京)

個人戦幼・義務教育の部
1 回戦 井上メ長屋(岐阜)

個人戦女子の部
1 回戦 伊藤メ加藤(広島)

第46回全国中学校剣道大会

平成二十八年八月十九日(金)
二十一日(日)

於 長野県ホワイティング

平成二十八年八月十九日(金)から二十一日(日)に長野県ホワイティングにおいて開催。結果は次の通り。

団体戦の結果

(男子団体の部)

予選リーグ 中央中2敗 3位

中央中 1 | 2 横浜中

中央中 1 | 2 平岡緑

第45回福井県少年少女剣道錬成武生大会

平成28年8月28日(日) 於 越前市体育館

団体試合成績

優勝 木田剣道スポーツ少年団 第2位 織田剣道スポーツ少年団
第3位 福井養正館 第3位 今立剣道スポーツ少年団

男子個人試合成績表

	優勝	次勝	三位	三位
4年生以下 A	藤田 元基 五常館	梅田 雄飛 江守の里	大西諒太郎 王子保ス少剣	新井 峻斗 福井東部
4年生以下 B	米沢 龍馬 木田剣少	前田 大翔 森田少剣教	江戸 一誠 剣誠館	山本 紀仁 王子保ス少剣
4年生以下 C	安達 一誠 木田剣少	坂井 健臣 福井少剣ク	江戸 陽琉 剣誠館	了舟 慶 三国少剣教
4年生以下 D	新道 琉雅 金津少剣教	奥平 大貴 丸岡剣少	吉田 幸路 五常館	広部 祥大 新風館
5年生 A	三船胡太郎 五常館	赤間 勇紀 福井少剣ク	武長 孝要 西部剣教	木村 日誌 敦賀剣少
5年生 B	成松 周哉 敦賀剣少	藤田 大智 丸岡剣少	山本海七太 大虫剣少	鎌田 朔矢 武道学園剣教
6年生 A	吉村 勤汰 王子保ス少剣	原田 大晴 今庄剣少	土田 朋徳 武道学園剣教	武内 獅覚 三国少剣教
6年生 B	加藤 諒也 三国少剣教	藤原匡之介 今庄剣少	吉田 來生 吉川ス少剣	橋本 偉成 志比剣少

女子個人試合成績表

4年生以下 A	永棹 結希 金津少剣教	大石 杏早 新風館	井上 日菜 今立剣少	宮本 真菜 福井東部少剣
4年生以下 B	森川 沙恵 福井少剣ク	川瀬 乃音 武道学園剣教	井口 咲 西部剣教	西山 倫代 志土樹館
4年生以下 C	廣中 夏 吉川ス少剣	上坂 菜摘 豊神館	水波 亜瑚 金津少剣教	前田 梨帆 福井少剣ク
5年生	下中 沙友 木田剣少	遠藤 晃 丸岡剣少	橋詰 みゆ 向笠剣少	江戸 紗耶 剣誠館
6年生	井上 楓 豊神館	宮本 沙彩 福井東部少剣	中村 光来 五常館	大味奈夕夏 春江少剣教

女子1回戦

田崎(松陵中) 延メ清水(芝中)

2回戦

梅田(藤島中) ド志田(山形四中)

個人戦の結果

男子1回戦

今庄中 0 | 4 玉穂中

今庄中 0 | 2 比叡山中

(女子団体の部)

予選リーグ 今庄中2敗 3位

2回戦

川端(今庄中) 延メ筒井(淑徳葉鴨中)

奥村(三方中) コメ有働(京陵中)



第37回北信越国民体育大会

平成二十八年八月二十八日(日)

於 長野県大田市総合運動公園体育館

少年女子14年ぶり本国体出場!

成年女子惜敗!

八月二十八日(日)に長野県大田市総合運動公園体育館において、第三十七回北信越国民体育大会剣道競技が開催されました。

少年女子試合結果

少年女子は、北信越枠が1県となつてから初めての優勝で、14年ぶりの本国体出場をつかみ取りました。初戦の長野県戦では、先鋒中山選手が、中盤で思い切りのよい面を先取して一本勝ちを収めました。次鋒堤腰選手は、延長戦の末に敗れましたが、中堅鈴木選手が手堅く面で一本勝ちをして、王手をかけました。副将八幡選手が延長で面を取られ大将戦となりましたが、大将山崎選手は、落ち着いた試合ぶりで勝機を伺い、延長戦で面を決めて初戦に勝利しました。この初戦の先鋒、中堅、大将が勝つての勝利がチームに勢いをつけました。

次の富山戦では、先鋒中山選手が面と小手の二本勝ちをすると、次鋒堤腰選手は上段の選手に面を先取さ

剣道だより

れるも胴を取り返し、10分に及ぶ延長戦を制して勝ちを収めました。中堅鈴木選手も面を先取されましたが、面を取り返し、延長戦で小手を決めて勝利しました。この後、副将八幡選手もこの勢を引き継ぎ面の一本勝ち、大将山崎選手も胴と面の二本勝ちで、5対0で勝利しました。

三試合目の新潟戦では、富山戦の勢いそのままに、先鋒中山選手が、延長戦で見事な相面を決めてチームに勢いをつけると、中堅鈴木選手が延長で胴を決めて大手をかけた。

副将八幡選手は、面を先取した後、竹刀落としと場外の反則を取って二本勝ちし、新潟県に勝利を確定しました。しかし、大将山崎選手は勝負の手を抜くことなく、面の一本勝ちを収め新潟県に4対1という見事な勝利を収めました。

最終戦の石川県戦では、この日絶好調の中山選手は、勝ちを意識して少し硬くなり、延長戦で負けを喫し、関係者は少し不安な気持ちになりました。しかし、次鋒堤腰選手は、上段の選手相手に良く健闘し、延長戦に入っすぐに見事な小手を決めて本国体出場をほぼ確実にしました。この日全勝の中堅鈴木選手は延長戦の末反則で敗れましたが、副将八幡選手が12分間に及ぶ延長戦で逆胴を決めて、岩手国体出場を決定しまし

た。少年女子は、見事なチームワークと粘り、思い切りのよい試合ぶりで、宿敵新潟県を破るなど14年ぶりの本国体出場を果たしました。この試合ぶりから、本国体での活躍が期待されます。

1位 福井県 3勝1敗(勝者数14)
2位 新潟県 3勝1敗(勝者数13)
3位 石川県 3勝1敗(勝者数11)
4位 長野県 1勝3敗
5位 富山県 0勝4敗

福井 3/3 | 2/2 長野
先鋒 中山 メ | 池上
次鋒 堤腰 | コ 野口
中堅 鈴木 メ | 笠井
副将 八幡 | メ 竹入
大将 山崎 メ | 中村

福井 9/5 | 2/0 富山
先鋒 中山 メコ | 寺部
次鋒 堤腰 ドド | メ 高橋
中堅 鈴木 メコ | メ 荒井
副将 八幡 メ | 青山若
大将 山崎 ドメ | 青山萌
福井 5/4 | 2/1 新潟
先鋒 中山 メ | 藤田
次鋒 堤腰 | メメ 長澤
中堅 鈴木 ド | 皆川
副将 八幡 メ反 | 古畑

大将 山崎 メ | 村山
福井 2/2 | 4/3 石川
先鋒 中山 | メ 山川
次鋒 堤腰 コ | 谷口
中堅 鈴木 | 反 高木
副将 八幡 ド | 横井
大将 山崎 | メメ 金山

成年女子試合結果
本県成年女子は、初戦石川県を2勝1敗で退けました。しかし、二試合目に新潟県に先鋒伊藤選手、中堅山田選手が延長戦の末敗れるという波乱があり、もう1敗もできないという崖っぷちに立たされました。三試合目長野県には、先鋒伊藤選手、中堅山田選手、大将森選手が勝利し、最終戦に望みを繋ぎました。

最終戦までの各県チームの試合結果は、石川県が3勝1敗、福井県が2勝1敗、新潟県が2勝2敗、長野県が1勝3敗で試合を終り、本県チームは最終戦で富山県に3対0または2勝で5本以上取得すれば、本国体出場となる状況になりました。ここで、本県チームは、先鋒伊藤選手が一本勝ち、中堅山田選手が二本勝ちを収め、大将森選手が勝てば、本国体出場ということになりました。森選手は、立ち上がりから先の技で攻め込みますが、決定打を打てずに延

長に入りました。延長戦開始直後に森選手が攻めて行こうとする端に、富山県大将宇佐美選手が小手技を出すと、森選手の手元が思わず上がり、小手が決まり万事休すとなってしまいました。

成年女子福井県選手団は、常に攻め続け、実力の差を相手に痛感させる試合振りでしたが、一瞬の隙を打たれたことにより、惜しくも岩手国体出場はなりませんでした。来年こそは、本県体3位以内を目指して頑張ってもらうことを希望します。

1位 石川県 3勝1敗 (勝者数8 取得本数11)
2位 福井県 3勝1敗 (勝者数8 取得本数10)
3位 新潟県 2勝2敗
4位 富山県 1勝3敗 (勝者数4 取得本数5)
5位 長野県 1勝3敗 (勝者数4 取得本数4)

福井 2/2 | 1/1 石川
先鋒 伊藤 ド | 森田
中堅 山田 | メ 齋藤
大将 森 メ | 荒川
福井 1/1 | 2/2 新潟
先鋒 伊藤 | ド 渡邊
中堅 山田 | メ 中島

大将 森	コ	ー	町田	
先鋒 伊藤	メ	ー	南島	
中堅 山田	メ	メ	須坂	
大将 森	メ	ー	澤田	
福井	2/2	ー	1/1 富山	
先鋒 伊藤	メ	ー	小木	
中堅 山田	メ	メ	ー	島田
大将 森	ー	コ	宇佐美	

少年男子試合結果

少年男子は、一試合目の石川県戦の立ち上がり、先鋒田辺が素晴らしい飛び込み面を放ち、一本かと思われましたが、審判が硬直して旗が上がりませんでした。その後、石川県先鋒四郎丸選手も良い技を出しますが、旗が上がらないで終盤を迎え、鏢競合いの別れ際、田辺選手が面に行こうとする端を四郎丸選手が小手を決め、間もなく時間となりました。次鋒谷口選手も一本負けし、後がなくなつたところから、森下選手が面の一本勝ち、前田選手も小手の一本勝ちで大将戦に持ち込みました。大将馬淵選手は、慎重に試合を進め延長戦に入りました。延長10分過ぎに、鏢競合いからの別れ際に、面に行くのと田辺選手と同じく小手を決められて、2勝3敗で敗れました。

初戦のつまずきが尾を引き、二試合目は新潟県に0対5、三試合目は富山県に2対3、最終戦で長野県に2対3と全敗で北信越国体を終わりました。試合を振り返って見てみると、どの試合も紙一重の試合内容で、実力的に差はないように感じました。しかし、初戦で波に乗れなかったことが、5位という結果に終わった最大の原因であると思われまます。

1位	新潟県	3勝1敗(勝者数14)
2位	石川県	3勝1敗(勝者数13)
3位	長野県	3勝1敗(勝者数11)
4位	富山県	1勝3敗
5位	福井県	0勝4敗

福井	2/2	ー	3/3 石川
先鋒 田辺	ー	コ	四郎丸
次鋒 谷口	ー	メ	中川
中堅 森下	メ	ー	中越
副将 前田	コ	ー	里内
大将 馬淵	ー	コ	高見
福井	1/0	ー	7/5 新潟
先鋒 田辺	ー	コ	岡田
次鋒 谷口	コ	ー	ドコ 加藤
中堅 森下	ー	メ	コ 小崎
副将 前田	ー	メ	高橋
大将 馬淵	ー	メ	野瀬
福井	3/2	ー	4/3 富山

地区連盟だより

先鋒 田辺	ー	メ	山田	
次鋒 谷口	ー	メ	吉田	
中堅 森下	ー	コ	メ 五十嵐	
副将 前田	ド	ー	辻	
大将 馬淵	メ	メ	ー 四柳	
福井	3/2	ー	4/3 長野	
先鋒 田辺	ー	反	塩崎	
次鋒 谷口	ー	メ	近藤	
中堅 森下	メ	ー	西澤	
副将 前田	メ	ー	鈴木	
大将 馬淵	メ	ー	メ	コ 大久保

武道体験フェスタへの協力

平成二十八年六月二五日(土) 於 越前市武道館
 (一社)越前市体育協会は、市内の希望者を対象に、標記のフェスタを開催しました。これに呼応して越前市剣道連盟では、山田会長以下六名の会員が「剣道コーナー」と「居合道コーナー」を担当し、指導を行いました。
 毎年恒例になった行事ですが、八回目の今年は参加者が多く、午前10時から正午までの二時間に、一四八名が、参加しました。受付でスタンプリー様式の参加証をもらい剣

道、居合道の他薙刀・空手・柔道の各コーナーを順次まわりながら、初めての体験を楽しんでいました。
 剣道では、竹刀の素振りを習った後、剣道具を付けた会員相手に掛け声とともに打込んだり、居合道では、短めの模擬刀で鞘から抜いたり納めたりして日本刀の感触を確かめていました。同伴の父兄には、稽古場所や曜日・時間を書いたチラシを配布し、競技人口の増加を願っていました。

(記 広報部 玉村)



みんなの広場

剣道部・ クラブ紹介

株式会社アイビックス剣道部

株式会社アイビックス剣道部は、平成二十年に創部しました。創部当初は本社警備本部の串田総監督、中川監督のもと5人でスタートしました。

現在は本社警備本部森瀬総監督、堤腰監督のもと、男子9名・女子2名の部員で活動しています。主な活動といたしましては、月1回の全体稽古、福井県実業団剣道大会、中部地区実業団剣道大会、中部地区実業団剣道大会、今年度は中部地区実業団剣道大会においてベスト16まで勝ち進むことが出来ました。

株式会社アイビックスは、警備業務・清掃業務・人材派遣などを主な業務とし、剣道部員は重要防護施設や機械警備などに従事しております。このように仕事と剣道の稽古で培った精神で日々県民の皆様が心穏やかに安心安全に過ごせる社会づくりのために力を注いでおります。

これからも県民の皆様信頼していただける会社をめざし、剣道で心



と体を鍛え頑張つてまいります。AIVIXとは、いつも (Always) 快適に過ごせるように。もしも (If) の事態を未然に防ぐために。多種多様の (Various) のサービスト、内部環境・住居環境 (Inne) を提案、創造するエキスパート (Expert) であるという我が社の決意を表しています。

五常館剣道部

稽古前には、みんなで道場訓「五常(仁・義・礼・智・信)」を元氣よく唱和し、神棚に一礼します。素振り、足さばきなどの基本稽古を反復し、段階を踏みながら技を身に付けていきます。地稽古、かかり稽古で締めくくります。

稽古後には、岡田盛先生から子供たちに対してお話があります。剣道のことはもちろん、成長に必要なこと、勉強の大切さなど、いろいろなことをテーマにしてください。傍らで聞いている保護者の心にも響きます。剣道の稽古を通して、強さには体だけではなくて心が大切で、人として礼儀というものが欠かせないことなどを親子で学んでいます。

今年四月、同館は新しい建物に引越しました。建物に出入りする剣道着の子供たちの姿から、少しずつ近所の方々にも剣道場だと知ってもらえてきたようです。

稽古日は火、木、土曜日の週三回。以前の道場と比べると少し狭くなったので運動量が減るか心配していましたが、稽古内容はより濃いものになって活気づいています。

厳しい稽古でも、楽しみを見つけてるのは子供の特技。休憩と電車の通る時間が重なりと窓を開け、電車に

手を振るのが日課になっているようです。

開館三十五年。これからもみんな仲良く真剣に剣の道を進進していけたらと思います。

「ぼくのなりたい剣士像」

吉田 幸路(小学四年生)
五常館には「仁義礼智信」という道場訓があります。「仁」は「相手のことを考える」。「義」は「正しい行いをする」。「礼」は「正しい行いをする」。「智」は「よく勉強する」。「信」は「約束を必ず守る」です。

これをけい古前に必ず唱えます。四年前に剣道を始めたばかりのころは、この意味を分からずただ唱えていました。でも、最近意味が分かって唱えることができるようになってきました。

その中でも、今一番気になっている言葉は「礼」です。

先生は「防具の後始末をきちんとしなさい」と「残心」「あいさつ」についてよく言われます。これも礼の中の一つだということが分かってきました。

強くても礼儀がきちんと出来ていなければあまりかっこいいとは思えなくなってきたのです。ぼくはまだすわり方や立ち方などの作法や相手

への礼儀がかつこよく出来ていないことがたくさんあると思います。剣道の試合で勝つことは、とってもうれいことです。勝つためには古い古をがんばりたいです。だけど、やっぱり勝つだけでなく、「礼」にもこだわりたいです。「強くて礼儀正しいね」といわれる剣士になりたいです。



角鹿中学校剣道部

角鹿中学校は、北陸総領守、日本三大鳥居の一つとされる大鳥居がある気比神宮の東側に位置しています。剣道部は、創部以来敦賀市剣道連盟指導者の方々によるご支援をいただきながら活動を続け、平成八年より

学校の体育館での活動ができるようになった。男子団体で平成七年に群馬県、平成十四年に和歌山県で開催された全国中学校剣道大会に出場、個人戦においても多くの県チャンピオンを、そして卒業後もインターハイや国民体育大会で活躍する選手を輩出している実績があります。

現在、三年生が引退し、二年生五名、一年生七名の十二名で活動しており、剣道の上達はもとより、剣道を通しての学びが人間としての成長を促す原動力となることを目指し、部旗に掲げる『誠』の如く、『何事にも正直に熱心に取り組める人』となれるように稽古に励んでいます。

日々の稽古は、素振りや足捌きに始まり、基本を正しく使うことを目的に打ち込み、掛かり稽古、そして相手の気持ちを感じ取り、技を繰り出すための互角稽古と「気付き、考えること」を意識して取り組んでいます。また、剣道の盛んな敦賀市において、市剣道連盟主催の小中合同稽古会や、市内中学校、高校への出稽古等を行い、技の上達を確認する機会としています。

剣道を通しての出会い、剣道のできる環境、そしてそれを支え、指導してくださる方々への感謝の思いを



大切に、日々精進を重ねていくなかで『勝つて喜ばれるチーム』づくりを、そして『勝ちの先にあるもの』を求めて、これからも稽古に励んでいきます。

福井商業剣道部

私たち福井商業高校剣道部は、一年生一名、二年生四名、三年生一名の計六名で活動しています。平日は約二時間半、休日は約三時間練習をしています。

練習は基本が中心ですが、手首や足腰の強化のため、毎回練習の最後には追い込みや掛かり稽古、相掛かりを行っています。また、部員全員で様々なアイデアを出し、「今日は

この稽古をする」と毎回違う稽古も行っています。

どうすれば勝てるか、どうすれば上手になるかを一人ひとりが意識し、常に前向きに練習に取り組んでいます。稽古をビデオ撮影し、先輩後輩関係なく悪い点や良い点を指摘したり、雰囲気が悪くなったときはミーティングを行い、自分の思いを吐き出したりし、部員全員がまっすぐに剣道に向き合えるようにしています。

現在、試合では少しずつですが勝てるようになり、練習にも熱が入っています。支えてくださっている顧問の先生方や、週に一度教えていただいている県立武道館の先生方、家族、友人に感謝して、あいさつや返事など当たり前のことでも怠らせずに、仲間とともに日々精進していききたいです。

主将 西川奈穂



剣道 称号段位合格者

居合道段位審査会

平成二十八年八月七日(日) 於 石川県立武道館

〔初段〕 二名

清家 佑華 (福井市) 魚住 賢司 (越前市)

〔貳段〕 二名

三田村 新太郎 (福井南高校) 山本 なつみ (越前市)

〔参段〕 三名

平山 聡 (越前市) 高氏 啓充 (福井市) 斉藤 聖也 (越前市)

〔四段〕 二名

辻崎 正則 (越前市) 西森 英雄 (越前市)

剣道段位審査会

平成二十八年八月七日(日) 於 敦賀市中郷体育館

〔初段〕 五十七名

小林 工起 (南越中1年) 目黒 大士 (武生二中1年)

堀田昇平 (警察官) 竹下尚宏 (警察官) 橋詰友也 (警察官) 大塚翔太郎 (警察官) 伊藤敬太郎 (警察官) 横山一伎 (警察官) 山田晃大 (警察官) 坪川純也 (警察官) 正山寛之 (警察官) 久保田啓介 (警察官) 山田裕正 (警察官) 宮川祥季 (警察官) 伊藤大智 (警察官) 大崎勝揮 (警察官) 幸河正祐 (警察官) 岩井優磨 (警察官) 中村将士 (警察官) 河井優斗 (警察官) 中村耀央 (福井高専2年) 齊藤陽仁 (春江中3年) 石丸勇成 (池田中3年) 高橋立城 (清水中3年) 小南優輝 (中央中3年) 元井涼介 (丸岡南中2年) 田中智士 (松陵中2年) 松坂直樹 (栗野中2年) 山本京吾 (松陵中2年) 田熊純曲 (角鹿中2年) 原田泰誠 (森田中2年) 中野仁哉 (大東中2年) 塚田悠 (東陽中1年) 小林奏心 (高志中1年)

〔貳段〕 十六名

野口諒平 (警察官) 佐川脩 (警察官) 山本大祐 (警察官) 中村信介 (警察官) 井上誠 (警察官) 清水直人 (警察官) 牧田浩平 (警察官) 車田恭佑 (警察官) 西森敬太 (警察官) 濱本悟 (警察官) 岡田大治 (警察官) 宮越勇介 (警察官) 水上優 (警察官) 水川和宏 (警察官) 西川好花 (大東中2年) 藤田優那 (三方中2年) 南元蘭 (清水中3年) 齊藤愛乃 (松陵中3年) 隨原乃 (松陵中3年) 野田紗依里 (警察官) 山内菜摘 (警察官) 橋野海奈 (警察官) 森口真衣 (警察官) 山田みつき (警察官)

〔参段〕 六名

佐々木 俊記 (敦賀気比高3年) 楠 敬大 (会社員) 中西 涉 (警察官) 西出和広 (自営業) 向川那奈 (福井高3年) 菅原初音 (北陸高3年)

〔四段〕 一名

稲垣 拓也 (警察官)

〔五段〕 一名

大味 香代子 (会社員)

称号・六段以上合格者

平成二十八年夏 剣道七段 横山 栄二 (坂井) 剣道六段 瀬尾 祐輝 (福井) 剣道六段 藤卷 正紀 (福井) 剣道六段 小寺 みゆき (坂井)

ペンリレー

女性剣士の部屋

富永夏帆

父と剣道の試合を見に行っただのがきっかけで保育園の年長から始めた剣道。小学生の頃は吉川スポーツ少年団に所属し、『全力で抜かない稽古』を教えられました。男女、学年を問わず面をつけたら皆同等、とにかく負けず嫌いな私は試合や部内戦で男子に負けるのも嫌で、負けた時は面の中でずっと泣いていたのを覚えています。そんな『全力の稽古』を続けた甲斐あってか中学、高校と全国の舞台で試合をさせていただくことができました。しかし、全国の壁は高く最後の大会まで一度も納得のいく試合ができなかった私は、高校までで辞めようと思っていた剣道を大学に行っても続けようと思えました。不安だらけの進学。いざ入学してみると周りには各県のトップクラスの選手ばかり。女子だけで約五十人の部員。朝練、午後練、合宿とついて行くのに必死でした。全力で稽古をすれば倒れて先生や先輩に迷惑をかける日々。真剣に取り組んでも勝てず、今までの自分の甘さを痛感すると同時に自信や意欲がなくなりました。試合に出られることが当たり前だと思っていた私にとって、試合に出られず同期が活躍する姿をただ見ているだけで、全力で稽古をしても勝てないことが悔しくてたまりませんでした。何度も剣道を辞めようと泣いたこともありましたが、しかし、ある時「試合に出られなくてもいい、夏帆が一生懸命四年間やり抜いてくれたらいい、好きなようにやれ。」厳しい父に言われた優しい一言で目が覚めました。「倒れることを怖がって『全力の稽古』ができているのではないのか。どこかで無理だと

諦めてないか。負けても仕方がないと思っていないか。」初心に戻りもう一度考えました。快く大学に行かせてくれた両親や遠くから応援してくれる恩師や仲間を絶対に悲しませたくない。「必ず試合に出て恩返しをしたい。」その一心で再び稽古に取り組みました。そしてようやく三、四年生の時に関東大会に出場し、東京武道館で勝つ姿を見ることができました。何よりも一緒に戦ってくれる仲間の大切さを知ることができました。また、諦めずに努力すれば必ず得られるものがあるのだと学びました。選手になれず試合に出られない人の辛さ、選手の大変さやプレッシャーの大きさ、和の大切さを学ぶことができ、四年間で得られたものは他の何にも変えられない宝物だと思っっています。今は夢だった教師という仕事に就くことができ、国体強化メンバーとして稽古させていただき、日々勉強させていただいております。剣道から離れようとしていた私ですが、福井で稽古をさせていただくようになり、皆さんの一生懸命な姿を見て、またあの負けたくないという気持ちを持つことができました。また社会人として始まったばかりですが、全国各地で活躍する同期に負けられないように今までの経験を生かし、福井県を全国に知っていただけるような選手になりたいと思っっています。これからも関わってくださる全ての方々への感謝の気持ちを忘れずに『全力の稽古』をしていきます。



平成28年10月 事業計画

期	日	曜日	事業名	場所	開催者	備考
10	8～10 9～10 14 16 22	土～月 日～月 金 日 土	第71回国民体育大会 近県中学生剣道錬成大会 理事会 剣道形講習会 県中学校秋季新人競技大会 剣道競技	岩手県 若狭町 県武道館 県武道館 敦賀市	日体協 県中体連 県剣連 県剣連 県中体連	二戸市 19:00～ 9:00～ 中郷体育館 五島市
	15～17 22 23 29～30	土～月 土 日 土	第29回全国健康福祉祭剣道大会 第51回全日本居合道大会 第15回宮本武蔵顕彰女子剣道大会 地域社会剣道指導者研修会	長崎県 東京都 岡山県 県武道館	全剣連	

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616